

のり海況速報 第8報 (24-8)

平成25年 1月 9日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 1/8：内湾(わかふさ)、：内房北部(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(12/22-1/9)、東京湾口海況図(12/22-1/9)
 自動観測ブイデータ(12/22-1/9)、拓南観測データ(1/8-9)
 モニタリングポスト(1/8：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】 沖合水の動きに注意。

- ・内湾の表層水温(図1)は前回(12月17, 20日)よりさらに2~3℃下がり、8日現在ほぼ9~10℃台になっています。塩分は30~31台で、ほぼ平年並みに戻っています。
- ・また、縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図2)では、水温・塩分とも表層から水深20m付近まで前回より一層活発に鉛直混合が行われています。
- ・内房北部の表層水温も降下し、現在ほぼ11~13℃台になっています。
- ・東京湾口への沖合水の流入は7日あたりからみられ、水温15℃台の水塊が浦賀水路航路付近まで波及していますので、この動きに注意が必要です。

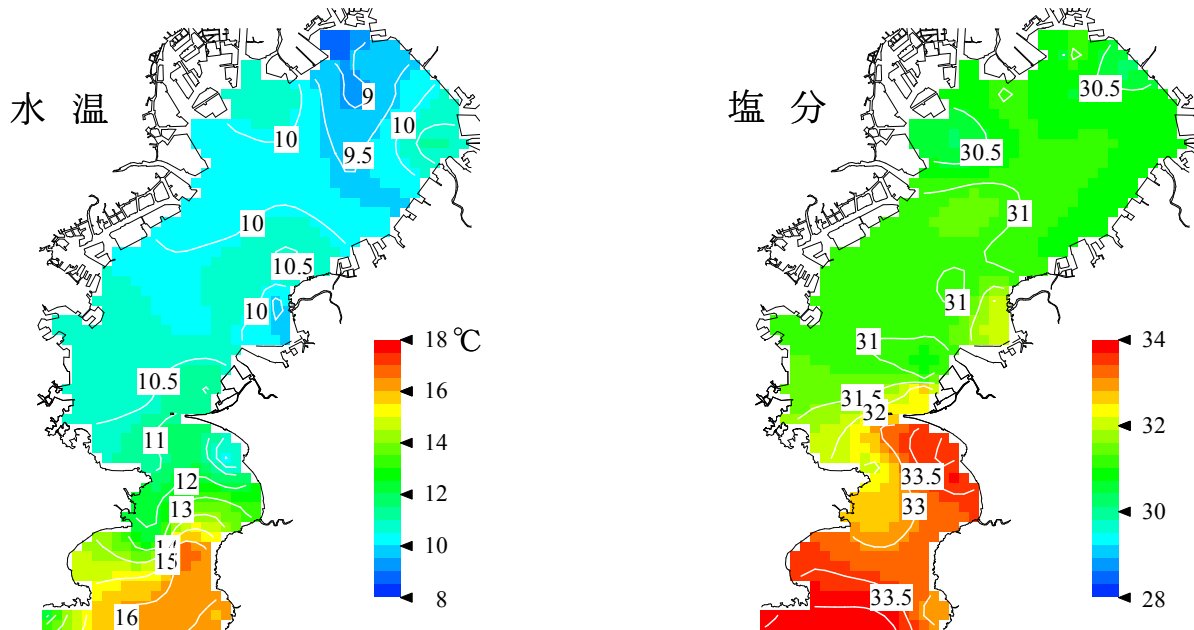


図1 表層の水温・塩分の分布(平成25年 1月 8日)

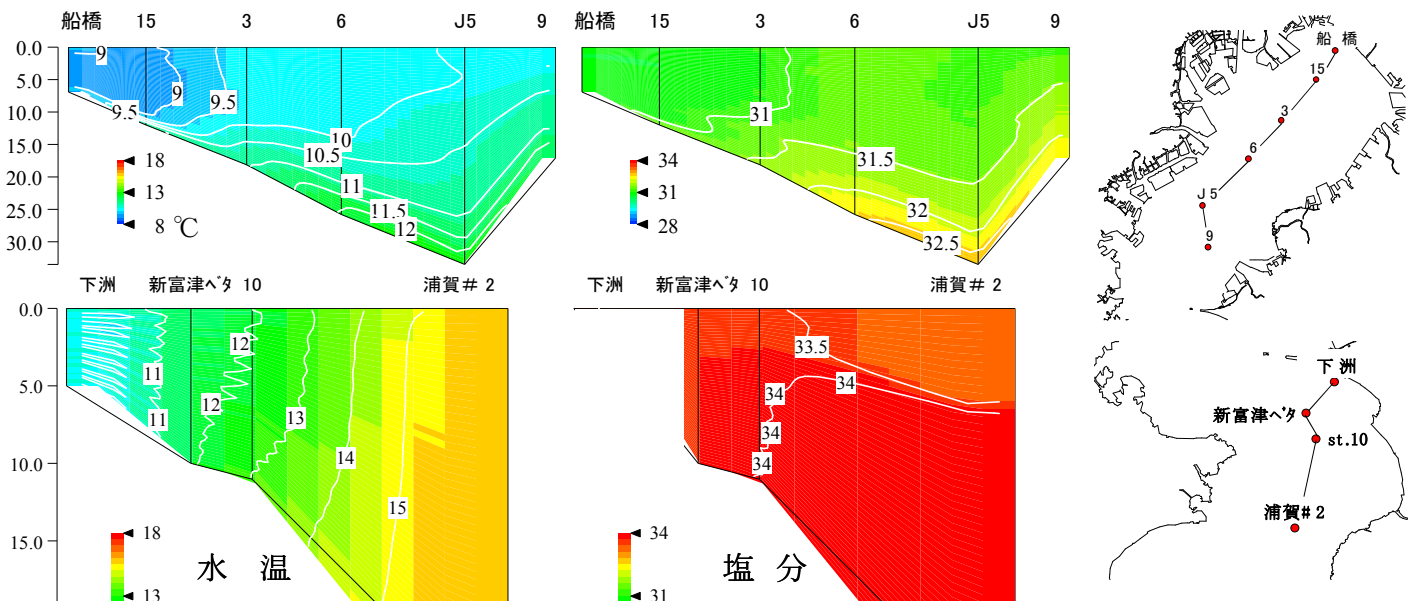


図2 断面の水温・塩分の鉛直分布(平成25年 1月 8日)

【赤潮・栄養塩の状況】 ケイ珪藻プランクトン増加。リンは減少。

- ・赤潮は全域で発生していませんが、内湾ではスケルトネマやタラシオシラなどのケイ藻プランクトンが増加し、水色は褐色を帯びてきています。
さらに、透明度が中央から北部海域の千葉県側で2m台まで低下しています。
- ・表層の栄養塩(図3)は内湾のリン(D I P)が前回より少なくなっていますが、いまのところのり養殖にとって問題ない濃度になっています。

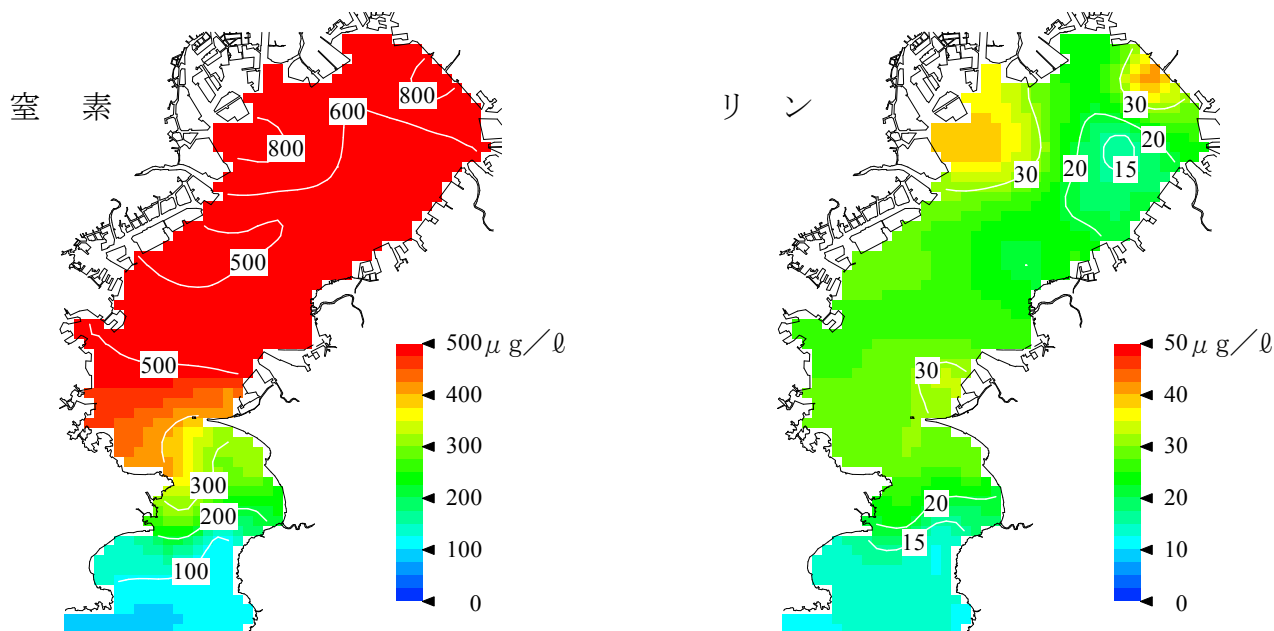


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成24年12月17, 20日)

り養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各り養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”り養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html